

埼玉県マスコット「コバトン」

令和8年度

埼玉農業大賞表彰式

と　き：令和８年１１月２１日（土）

ところ：熊谷スポーツ文化公園

Saitama Agricultural Awards

熊谷市の水稲

彩の国
埼玉県

目　　次

埼玉農業大賞について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１
選考経過報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２
埼玉農業大賞受賞者・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３
埼玉農業大賞　経営体部門　受賞者紹介・・・・・・・・・・・・４
　森田　義政・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・６
　有限会社キムラ企画・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・７
埼玉農業大賞　地域貢献部門　受賞者紹介・・・・・・・・・・・８
　合同会社黒澤農園・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１０
　須賀　利治・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１１
埼玉農業大賞　革新的農業技術部門　受賞者紹介・・・・・１２
　株式会社埼玉原種育成会・・・・・・・・・・・・・・・・・１４
　ＥＦ　Ｐｏｌｙｍｅｒ株式会社・・・・・・・・・・・・・・１５



このたび、令和８年度埼玉農業大賞を受賞された皆様に心からお祝いを申し上げます。

埼玉農業大賞は、優れた農業経営や地域への多大な貢献及び革新的な農業技術の実用化に取り組まれ、埼玉農業の振興に貢献された方々の功績を称えるとともに、その先進的な事例を広く発信し、埼玉農業を更に発展させていくことを目指しています。

受賞された皆様は、これからの埼玉農業のモデルとなる素晴らしい取組をされています。

皆様の農業に寄せる熱い想いと継続的な努力に対し、深く敬意を表するとともに、皆様が積み上げられた優れた技術や経営手腕、そして地域でのリーダーシップを最大限に発揮いただき、今後の埼玉農業の発展に格別のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

さて、本県は温暖な気候や肥沃な土壌、豊かな水に恵まれています。また、大消費地である首都圏の中央に位置し道路網や鉄道網が充実した交通の要衝であり、多数の食品関連産業が立地しています。

こうした強みを生かし、本県では産出額が全国第７位の花き、茶、第８位の野菜をはじめ、米、麦、果実、畜産など多彩な農畜産物が生産されています。

一方、農業を取り巻く環境には、生産者の減少や燃油・資材価格の高騰、気候変動による農作物への影響や災害の深刻化など様々な課題もあります。

こうした中、今回の受賞者の取組にあるように、地域を担う後継者の育成、安定生産に寄与するデータを活用した栽培管理、栽培しやすく収量性の高い品種開発による産地振興、地域内の資源を活用した持続可能な農業に貢献する取組など、社会環境の変化に柔軟に対応する新たなチャレンジが各地域で始まっています。

県としても、こうした環境変化に的確に対応するため、将来の埼玉農業を支える新規就農者や経営力に優れた担い手を育成するとともに、県産農産物の需要拡大や先端技術を活用したアグリテックを推進し、埼玉農業の持続的な発展を目指してまいります。

結びに、本日受賞された皆様の今後ますますの御活躍を祈念いたしますとともに、本事業に御協力いただいた皆様に心からお礼を申し上げます。

令和８年１１月２１日

埼玉県知事　大野元裕

埼玉農業大賞について

（１）趣旨

埼玉農業大賞は、環境の変化に対応して本県農業の模範となる優れた農業経営を実践する方、地域農業の振興や社会の活力向上に優れた功績を上げている方、テクノロジーを活用して本県農業に変革をもたらす革新的な農業のモデルを作っている方に、知事の表彰状を贈り、その成果を称え広く紹介することによって、本県農業の持続的な発展に資するものです。

（２）表彰

賞の対象は、県内で意欲的に農業を営む個人・法人又は団体、県内で革新的な農業のモデルを作る企業等とし、埼玉農業大賞に、経営体部門、地域貢献部門、革新的農業技術部門を設けています。

表彰は、各部門で、最も優秀な者それぞれ１点を大賞とし、また、大賞に次ぐ優秀な者それぞれ原則１点を優秀賞として賞します。

（３）主催

埼玉県

（４）後援

埼玉県農業協同組合中央会、埼玉県信用農業協同組合連合会、
全国農業協同組合連合会埼玉県本部、
全国共済農業協同組合連合会埼玉県本部、
埼玉県農業共済組合、一般社団法人埼玉県農業会議、
公益社団法人埼玉県農林公社、一般社団法人埼玉県畜産会、
一般社団法人埼玉県商工会議所連合会、埼玉県商工会連合会、
公益財団法人埼玉県産業振興公社

（５）特別協賛

ＪＡグループさいたま

選考経過報告

（１）募集

令和８年４月２１日（火）から令和８年６月３０日（火）までの間、埼玉農業大賞の募集を実施した結果、自薦・他選により経営体部門４点、地域貢献部門６点、革新的農業技術部門４点の応募がありました。

（２）選考

埼玉農業大賞表彰要綱第５条第２項の規定に基づき、埼玉農業大賞選考委員会を組織し、次のとおり選考委員会を開催しました。

ア　埼玉農業大賞選考委員会幹事会の開催

令和８年８月２６日（水)、埼玉農業大賞選考委員会幹事会を開催し、予備選考を実施しました。

イ　埼玉農業大賞選考委員会の開催

令和８年９月１１日（金)、埼玉農業大賞選考委員会を開催し、各部門で大賞及び優秀賞の選考を実施しました。

埼玉農業大賞選考委員会

役　職	氏　　名	備　　考
委員長	篠　崎　　豊	学識経験者
副委員長	大 島　　美 昭	埼玉県農業協同組合中央会 常務理事
委　員	江 口　　幸 治	埼玉大学 ＡＬＬ ＳＡＩＴＡＭＡミライ機構企画推進室　教授
委　員	近藤　美恵子	中小企業診断士
委　員	加 藤　　由 菜	㈱日本政策金融公庫さいたま支店農林水産事業融資第一課　上席課長代理
委　員	浅 野　　昌 江	関東農政局生産部環境・技術課　農政調整官
委　員	渡　邉　　亨	関東経済産業局地域経済部産業技術革新課　経済社会政策室長

（３）選考結果

応募されました事例はいずれも優れた農業経営や革新的な農業技術の活用に取り組まれ、また、埼玉農業の振興や地域活性化に優れた活動を行うものであり、選考は難航しました。

選考の結果、経営体部門の大賞として１個人、優秀賞として１法人、地域貢献部門の大賞として１法人、優秀賞として１個人、革新的農業技術部門の大賞として１法人、優秀賞として１法人を令和８年度埼玉農業大賞受賞者といたしました。

埼玉農業大賞受賞者

（１）経営体部門

敬称略

区　分	受　賞　者　名
大　賞	森田（もりた）　義政（よしまさ）（東松山市）
優秀賞	有限会社（ゆうげんがいしゃ）キムラ企画（きかく）（杉戸町）

（２）地域貢献部門

敬称略

区　分	受　賞　者　名
大　賞	合同会社（ごうどうがいしゃ）黒澤農園（くろさわのうえん）（小鹿野町）
優秀賞	須賀（すか）　利治（としはる）（上里町）

（３）革新的農業技術部門

敬称略

区　分	受　賞　者　名
大　賞	株式会社（かぶしきがいしゃ）埼玉原種育成会（さいたまげんしゅいくせいかい）（久喜市）
優秀賞	ＥＦ　Ｐｏｌｙｍｅｒ株式会社（イーエフ　ポリマー　かぶしきがいしゃ）（日高市(埼玉拠点)）

埼玉農業大賞
経営体部門
受賞者紹介



経営体部門 大賞

森田（もりた）　義政（よしまさ）

１　経営概要

（１）所 在 地　　東松山市

（２）経営内容　　水稲 25.8ha

２　受賞理由

（１）平成７年に経営主となり、４ヘクタールから主穀作経営を開始し、以降、規模を拡大し、ほ場の大区画化と均平化を進めることで、効率的な作業体系を構築、詳細な記録と経営分析により労働時間の削減と所得の向上を両立している。

（２）栽培データを駆使した生育管理により、令和７年のような猛暑の年であっても「彩のきずな」で平均 550kg／10 アール以上の安定した収量を確保している。

（３）GLOBAL G.A.P.の実践や生産物を乾燥ロットごとに管理するなど徹底した品質管理により、実需者からの信頼も厚く、複数の大手米卸業者と契約を結び、安定した経営を実践している。



森田 義政 氏



森田氏の生産する米

経営体部門 優秀賞

有限会社キムラ企画

1　経営概要

（１）所 在 地　　杉戸町

（２）代表者名　　代表取締役　木村　卓功

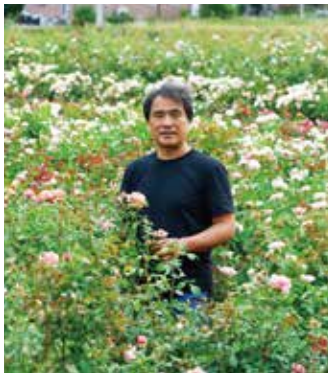
（３）経営内容　　バラ〔苗生産〕３ha、バラ〔育種〕２ha、水稲３ha

2　受賞理由

（１）ガーデンローズの市場性と将来性に着目して、切り花からガーデンローズ苗の生産・販売および品種育成へ全面的にシフトし、平成 28 年までにバラ苗生産の体制を確立した。

（２）独自に育成した 120 品種のガーデンローズは「ロサオリエンティス」ブランドで販売している。日本で栽培しやすい特性を備えた品種は、業界内外から高い評価を得ており、世界的なローズクリエーターとしての地位を確立している。

（３）常時 300 種の品種を栽培、約 1,500 種もの品揃えを誇り、国内シェアは約 20%に達している。市場出荷に加え、直売所や EC サイトでの販売、さらに、７か国に代理店を設け、海外販売も順調に拡大している。



代表 木村 卓功 氏



育成したバラ品種
「シルクロード」



従業員のみなさん

埼玉農業大賞
地域貢献部門
受賞者紹介



地域貢献部門 大賞

合同会社黒澤農園（ごうどうがいしゃくろさわのうえん）

１　経営概要

（１）所 在 地　　小鹿野町

（２）代表者名　　黒澤（くろさわ）　忠弘（ただひろ）

（３）経営内容　　きゅうり 11,000 ㎡、トマト 3,000 ㎡、しゃくし菜 4,000 ㎡、その他 5,000 ㎡

２　受賞理由

（１）平成 25 年に就農し、平成 28 年に法人化して施設きゅうりに加え、施設トマトなど品目拡大を行っている。

（２）新規就農者の積極的な受け入れを行っており、受け入れに際しては、町や農業委員会と連携し、遊休農地や空きハウスを活用した最適な研修環境を整備するなど、地域に寄り添った担い手育成の仕組みを構築している。

（３）これまで６名が独立就農し、独立後も適正な栽培管理のアドバイスや農業機械の貸し出しを行うなど、スムーズな営農開始と経営発展を支援し、地域の担い手育成と農業振興に大きく寄与している。



代表の黒澤氏（後列の中央）と従業員の皆さん



栽培指導の様子（中央奥が黒澤氏）

地域貢献部門 優秀賞

須賀（すか） 利治（としはる）

１　経営概要

（１）所 在 地　　上里町

（２）経営内容　　枝豆 0.2ha、こまつな 0.3ha、ねぎ 0.2ha、大根 0.3ha、その他 12.3ha

２　受賞理由

（１）「農業は地域の自然・人・文化を守る営みである」という理念のもと、先代から 65 年以上、緑肥などの自家製植物性堆肥を用いた自然農法を実践している。

（２）平成 12 年に組織した「自然農法上里生産組合」を基盤に、平成 23 年にはＪＡ埼玉ひびきのに「有機ＪＡＳ部会」が設立され、生産者同士の連携と技術共有を推進している。

（３）地元の味噌・醤油製造会社と協力し、有機大豆を原料にした有機ＪＡＳ認証の醤油や豆腐の生産・販売事業を展開。農商工連携により、地域資源を活用した地域経済の活性化に寄与している。



須賀 利治 氏



地元直売所で有機野菜を販売

埼玉農業大賞
革新的農業技術部門
受賞者紹介



革新的農業技術部門 大賞

株式会社埼玉原種育成会（かぶしきがいしゃさいたまげんしゅいくせいかい）

１　経営概要

（１）所 在 地　　久喜市

（２）代表者名　　代表取締役社長　大熊（おおくま）　秀一（しゅういち）

２　受賞理由

（１）同社は、高収量、高品質、複合耐病性を持ち、長期作も可能な全作型対応きゅうり品種「ニーナＺ」と、この特性に加え省力的な整枝管理が可能な「まりん」を育成した。

（２）「ニーナＺ」はうどんこ病、褐斑病に強い耐性を示す複合耐病性品種として全国に普及し、埼玉県の主要な品種となっている。また、「まりん」は超多収の複合耐病性品種で、省力的な整枝管理が可能なことから、現在では「ニーナＺ」を上回る市場シェアを誇る。

（３）同社では、県内の生産者向けに栽培講習会等を開催し、品種の特長を確実に理解してもらうことに努めており、埼玉県の主要野菜であるきゅうりにおいて、生産性向上と持続可能な経営を支援している。



「ニーナＺ」



「まりん」



育種のために花粉を交配する職員

革新的農業技術部門 優秀賞

EF Polymer株式会社
（イーエフ　ポリマー　かぶしきがいしゃ）

１　経営概要

（１）所 在 地　　本社：沖縄県恩納村、埼玉拠点：日高市

（２）代表者名　　ナラヤン・ラル・ガルジャール

２　受賞理由

（１）同社の「ＥＦポリマー」は、これまで廃棄されていた作物残渣（オレンジの皮など）をアップサイクルし、完全有機かつ生分解性を持つ高吸水性ポリマーとして開発された農業資材である。この資材を土壌に混ぜることで、保水力や保肥力が向上し、作物の生育環境を改善する。

（２）使用方法は、散布・混和のシンプルなもので、高額な設備投資も不要なため、農家が容易に導入できる点が特徴。

（３）近年、埼玉県内において、夏季の高温・乾燥が課題となっており、この課題解決のため、県内７市の 43 農業経営体、約 22ha で使用されており、今後更なる導入拡大が期待される。



ＥＦ　Polymer(株)の皆様
（２列目右から３人目が代表の
ナラヤン・ラル・ガルジャール氏



商品「ＥＦポリマー」
（右上写真は粒タイプ）

MEMO

やっぱり お米！

勝利のみなもと、埼玉県産米



©URAWA REDS

彩のかがやき　えみほころ　彩のきずな

ポスター撮影
メイキング
ムービーは
こちら→

JAグループさいたま　埼玉米販売促進対策本部 ｜ JA全農さいたま　TEL.048-799-7000